



## 2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月10日

上場会社名 株式会社 技研製作所 上場取引所 東  
コード番号 6289 URL https://www.giken.com  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 大平 厚  
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 田内 剛 TEL 088-846-2933  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年8月期第3四半期の連結業績（2025年9月1日～2026年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	19,508	11.9	1,779	27.2	2,042	42.0	1,466	225.0
2025年8月期第3四半期	17,429	△21.3	1,399	△50.7	1,438	△54.1	451	△79.7

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 2,335百万円 (—%) 2025年8月期第3四半期 144百万円 (△94.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	57.18	—
2025年8月期第3四半期	16.86	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	46,616	39,136	84.0
2025年8月期	47,837	40,285	84.2

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 39,136百万円 2025年8月期 40,285百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	22.00	—	32.00	54.00
2026年8月期	—	27.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	—	—	27.00	54.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2025年8月期期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	5.6	2,900	13.0	3,050	11.6	2,200	47.9	86.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年8月期3Q	27,074,728株	2025年8月期	28,194,728株
② 期末自己株式数	2026年8月期3Q	1,708,686株	2025年8月期	1,747,721株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年8月期3Q	25,645,742株	2025年8月期3Q	26,764,451株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(収益認識関係) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内の事業環境は、民間投資の持ち直しと底堅い公共投資により、建設投資全体は堅調に推移しました。当社事業においては、災害復旧・復興事業や国土強靱化事業等を中心にインプラント工法<sup>※1</sup>の普及に取り組んだ結果、採用案件数は順調に推移しました。しかしながら、建設コスト上昇やそれに伴う施工量の減少、技能労働者不足の影響により、顧客の設備投資は慎重な状況が続いています。また中東情勢や米国関税政策の動向は先行き不透明な状況にあり、引き続き留意が必要と認識しております。

国内の建設機械事業においては、新型機「サイレントパイラーST40SX」を含む一般機の販売に加え、大型特殊機のレンタルや部品販売が進捗しました。一方、国内の圧入工事業業につきましては、高付加価値の大型案件が進捗し始めたものの、開発型案件については前期に対して第3四半期の件数が少なく、第4四半期に集中する計画であることから、第3四半期累計期間の工事件数は前期を下回りました。

海外展開では、顧客向け総合支援サービス「GTOS<sup>※2</sup>」の定着を図り、会員企業と協働して市場拡大を加速させています。併せて、圧入技術の価値を共有する新規顧客の開拓を進めるとともに、現地で協業パートナー企業との連携により市場創出を進めています。

アジア地域では、シンガポールで前期獲得した顧客で、圧入事業の拡大に向けて製品導入を継続している企業が、新たにGTOS<sup>※2</sup>会員へ加入しました。これにより、同地域の会員数は11社に増加しました。本顧客は同国だけでなく、成長著しいインドネシアでの市場拡大も見据え、一般機を新たに購入しました。インドにおいては、前期に連携協定を結んだ現地のプレキャストコンクリート製造大手との協働成果として、カリカット運河の再整備プロジェクトでの工法採用を実現し、施工を担う同社グループ会社にサイレントパイラー2台を販売しました。

ヨーロッパ地域では、オランダの大規模治水事業「デルタプログラム」で堤防補強工事を進めるGTOS<sup>※2</sup>会員に対し、引き続きジャイロパイラー、GRBシステム機器等をレンタル提供しました。

北米地域では、カリフォルニア州の建設会社が新たにGTOS<sup>※2</sup>会員となり、同地域の会員数は4社に増えました。同州のロサンゼルスを中心に土木工事の元請として事業展開をしている会社で、治水工事等の公共事業におけるニーズを見込み、加入に至りました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は19,508百万円（前年同四半期比11.9%増）、営業利益は1,779百万円（同27.2%増）、経常利益は2,042百万円（同42.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,466百万円（同225.0%増）となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

#### ①建設機械事業

国内外において製品・部品販売やレンタルが進捗したことにより、当セグメントの売上高は13,394百万円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益は2,826百万円（同29.1%増）となりました。

#### ②圧入工事業業

国内では、工法採用が堅実に推移する中、水門新設に伴う防潮堤新設工事（岩手県）、河川護岸改修工事（熊本県）、橋梁架け替え工事（東京都）等において工事が進捗したものの、開発型案件については前期に対して第3四半期の件数が少なく、第4四半期に集中する計画であることから、一転減収となりました。一方、海外ではオペレーター付きレンタルが拡大したことから、全体では増収となりました。その結果、当セグメントの売上高は6,113百万円（前年同四半期比0.9%増）となりましたが、国内において付加価値の高い開発型案件が減少したことにより、営業利益は716百万円（同21.7%減）となりました。

※1 一本一本が高い剛性と品質を有した杭材（許容構造部材）を地中深く圧入し、地震や津波、洪水等の外力に粘り強く耐える「インプラント構造物」を構築する工法。

※2 会員顧客に対し、製品に加えて技術サービス等のノウハウを提供して現場の生産性向上を図る総合支援サービス。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,220百万円減少して、46,616百万円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産等の流動資産の減少2,198百万円に対し、機械装置及び運搬具等の固定資産の増加977百万円の差し引き合計によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少して、7,479百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金等の流動負債の増加248百万円に対し、長期借入金等の固定負債の減少320百万円の差し引き合計によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,149百万円減少して、39,136百万円となりました。これは、利益剰余金等の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年10月10日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,585	7,139
受取手形、売掛金及び契約資産	5,421	3,559
電子記録債権	1,406	2,332
製品	4,384	3,509
仕掛品	777	1,321
未成工事支出金	32	147
原材料及び貯蔵品	2,809	3,166
その他	437	478
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	23,849	21,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,778	9,016
機械装置及び運搬具	12,538	13,715
土地	9,728	9,738
建設仮勘定	1,202	1,276
その他	1,821	1,794
減価償却累計額	△15,207	△16,128
有形固定資産合計	18,861	19,413
無形固定資産	130	100
投資その他の資産		
投資有価証券	2,220	2,853
繰延税金資産	1,965	1,818
退職給付に係る資産	128	134
その他	701	667
貸倒引当金	△20	△23
投資その他の資産合計	4,995	5,450
固定資産合計	23,987	24,964
資産合計	47,837	46,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,043	1,474
短期借入金	505	155
未払法人税等	133	431
契約負債	2,887	2,610
賞与引当金	677	361
その他の引当金	2	11
その他	1,496	1,951
流動負債合計	6,747	6,996
固定負債		
長期借入金	519	402
その他	284	81
固定負債合計	804	483
負債合計	7,551	7,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,958	8,958
資本剰余金	10,142	10,121
利益剰余金	22,911	21,383
自己株式	△2,250	△2,719
株主資本合計	39,762	37,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	189	553
為替換算調整勘定	182	690
退職給付に係る調整累計額	151	147
その他の包括利益累計額合計	523	1,391
純資産合計	40,285	39,136
負債純資産合計	47,837	46,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	17,429	19,508
売上原価	10,618	12,044
売上総利益	6,810	7,463
販売費及び一般管理費	5,411	5,684
営業利益	1,399	1,779
営業外収益		
受取利息	16	46
受取配当金	18	19
不動産賃貸料	58	125
為替差益	—	87
業務受託料	45	—
その他	41	85
営業外収益合計	180	364
営業外費用		
支払利息	6	6
不動産賃貸費用	12	26
支払手数料	—	55
為替差損	115	—
その他	6	12
営業外費用合計	140	101
経常利益	1,438	2,042
特別損失		
訴訟関連損失	301	—
貸倒引当金繰入額	511	—
固定資産廃棄損	40	—
特別損失合計	853	—
税金等調整前四半期純利益	585	2,042
法人税等	133	576
四半期純利益	451	1,466
親会社株主に帰属する四半期純利益	451	1,466

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	451	1,466
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	364
為替換算調整勘定	△322	508
退職給付に係る調整額	△3	△3
その他の包括利益合計	△306	868
四半期包括利益	144	2,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144	2,335

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)」に記載のとおりであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	1,014百万円	1,047百万円

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額(注)2
	建設機械事業	圧入工事業			
売上高					
日本	9,753	5,840	15,594	—	15,594
その他の地域	1,617	217	1,835	—	1,835
顧客との契約から 生じる収益	11,370	6,058	17,429	—	17,429
外部顧客への売上高	11,370	6,058	17,429	—	17,429
セグメント間の内部 売上高または振替高	411	122	533	△533	—
計	11,781	6,180	17,962	△533	17,429
セグメント利益	2,188	915	3,104	△1,705	1,399

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,705百万円には、セグメント間取引消去68百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,774百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計 算書計上額(注)2
	建設機械事業	圧入工事業			
売上高					
日本	10,479	5,808	16,287	—	16,287
その他の地域	2,915	305	3,220	—	3,220
顧客との契約から 生じる収益	13,394	6,113	19,508	—	19,508
外部顧客への売上高	13,394	6,113	19,508	—	19,508
セグメント間の内部 売上高または振替高	673	198	872	△872	—
計	14,068	6,312	20,380	△872	19,508
セグメント利益	2,826	716	3,543	△1,764	1,779

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,764百万円には、セグメント間取引消去67百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,831百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。